

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年5月18日
【四半期会計期間】	第22期第3四半期（自平成29年10月1日至平成29年12月31日）
【会社名】	株式会社ギガプライズ
【英訳名】	GIGA PRIZE CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 梁瀬 泰孝
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区円山町3番6号
【電話番号】	03-5459-8400
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営企画室室長 佐藤 寿洋
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区円山町3番6号
【電話番号】	03-5459-8400
【事務連絡者氏名】	専務取締役経営企画室室長 佐藤 寿洋
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成30年5月10日に提出いたしました第22期3四半期（自平成29年10月1日 至平成29年12月31日）に係る四半期報告書の訂正報告書の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

四半期報告書の訂正報告書の提出理由

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示してあります。

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

（訂正前）

当社は、工事中用部材に係るリース契約の一部につき、本来「所有権移転ファイナンス・リース」となり、通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理すべきであるところ「所有権移転外ファイナンス・リース」と判定し、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理していたことが平成30年2月に判明いたしました。

その後社内において、調査を行った結果、当該会計処理に関するリース契約を特定したため、当期の第2四半期及び第3四半期の四半期報告書を訂正することとなりました。

これらの決算訂正により、当社が平成29年11月14日に提出いたしました第22期第3四半期（自平成29年10月1日 至平成29年12月31日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

（訂正後）

当社は、工事中用部材に係るリース契約の一部につき、本来「所有権移転ファイナンス・リース」となり、通常の売買取引に係る方法に準じて会計処理すべきであるところ「所有権移転外ファイナンス・リース」と判定し、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理していたことが平成30年2月に判明いたしました。

その後社内において、調査を行った結果、当該会計処理に関するリース契約を特定したため、当期の第2四半期及び第3四半期の四半期報告書を訂正することとなりました。

これらの決算訂正により、当社が平成30年2月14日に提出いたしました第22期第3四半期（自平成29年10月1日 至平成29年12月31日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。